



形が取れたら、土器からそつと離し、測った点に合わせて鉛筆で輪郭を写す



ツジ遺跡出土 土師器の甕
真弧を土器の形状に当て、凹凸に合わせて実測する



厚さ0.5mmの薄い板
厚さ0.5mmの薄い板が、くし状に約300枚並んでいる

ふちゅう歴史散歩
遺物実測道具
真弧
Vol.140

今回紹介するのは、発掘調査で出土した遺物の実測作業を行うときに使う真弧です。
真弧は、遺物の表面に対して垂直に押し当てることで、輪郭を写し取ることができる便利なものです。特に粘土を人の手で成形した歪みのある土器の実測では大変活躍します。
実測図は、それを描くことで遺物の持つ特徴や技法などの情報を把握することができます。近年ではデジタル機器による形状測定が普及しつつありますが、手描きによる実測も重要な作業です。実測は観察を通して遺物を理解しようとする点とです。手に持ち観察することで、遺物の質感や歪み、重さを感じ取ることができます。観察をもとに実測図を描くときに助けてくれる真弧はなくてはならない道具です。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その97



投稿者(文と写真)
上下高校1年
青山 哲平さん

「上下かかしまつり」

上下高校では、1年生4人、2年生2人、3年生2人で放課後に集まり、10月下旬から開催される「上下かかしまつり」に出展する作品を作りました。

かかしは、ジブリ作品の『魔女の宅急便』の主人公である魔女のキキをモデルに作りました。かかしの体はみんなで集めたペットボトルを使い、顔はビニール袋の中に新聞紙を丸めて形を整え、服は使わなくなった服を集め、キキの衣装を再現しました。顔や体、小道具は、制作段階で風雨に耐えられるようにビニールを被せて作りました。

ほぼ全員が初めてのかかし作りで、そのうち2年生は修学旅行と重なり、あまり参加することができませんでしたが、全員が協力し合い、良い作品が作れたと思います。



府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

今月の放送日 12月5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)

府中市のマチ・ヒト・モノに注目し、聞いて楽しく、府中市を感じられる内容をお届けします。



公式SNS LINE



公式SNS facebook



スマホアプリ radiko(ラジオ)

府中市メール配信サービス



My府中



iPhone



Android